

石川県立自然史資料館の平成26年度管理状況

施設所管課	教育委員会生涯学習課
指定管理者	特定非営利活動法人 石川県自然史センター 理事長 古池 博
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎朝の打合せや全体会議（月1回）で開催イベント等の共通理解をはかり、接遇向上に努めている。 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケートの実施（のべ84通） ・ 利用者ニーズの反映 <ul style="list-style-type: none"> 特別プログラムの2回開催（「スライムで自分だけの時計をつくろう」、「リサイクル・キャンドルを作ろう」） ・ アンケートの意見を生かし、より見やすい展示、わかりやすいチラシ等の作成に努めている。
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普及講座「ミクロの化石をみつけよう」など20回実施（参加人数628人） ・ 企画展「植物学者・正宗巖敬と植物図」「セミのふしぎ展 @いしかわ」「中生代の森－手取層群の植物化石－」の開催（参加人数5,494人） ・ イベント「バックヤードツアー」、自然史講演会「世界のブナ林、日本のブナ林」の開催（参加人数79人） ・ ミニ展示「石川県のブナ」など3回（参加人数4,558人） ・ 出前講座の充実（学校での学習内容とつながりを持たせたメニュー提供、クラブ活動とのタイアップなど）（参加人数：852人） <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページへの掲載 ・ 広報誌への情報提供、報道機関への資料提供 ・ 学校・公民館等施設を直接訪問し団体向けプログラム（1,500部作成）によるPR（のべ44箇所） ・ 講座・イベント年間予定表（15,000部） ・ ニュースレター（年2回A4二つ折り1,500部） ・ 施設紹介リーフレット（9,000枚） ・ 企画展のポスターやチラシ（ポスター1,000部・チラシ26,000部）

	周辺地域、関係機関との連携・協同の推進 ・ 県森林公園内インフォメーションセンターや県立生涯学習センターで館外展示を4回実施（参加人数9,395人） 【H26～】
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃（再委託） 保守点検 警備（再委託） 小規模修繕 ・ 非常用発電機のバッテリー取替他
（その他知事が必要と認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・ 危機管理マニュアルの策定、自衛消防隊を組織し、事故発生時の緊急対応について、訓練を行っている。（年2回） 個人情報の管理状況 ・ 職員への周知徹底が行われている。

2 施設の利用状況

（1）利用指標

指標	H25年度 (参考)	H26年度	前年度比	増減理由
利用者数（人）	6,056	5,929	97.9%	入館者増に繋がる企画展や普及講座等を実施できなかった。

（2）使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

（3）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
該当なし			

（4）収支決算

（千円）

収入		支出	
管理料	42,852	人件費	25,795
		光熱水費	6,114
		庁舎管理費	4,066
		展示費等	2,831
		消耗品費	242
		借上料	769
		修繕費	549

		その他	2,923
合計	42,852	合計	43,289
収支差額	△437		

(5) 中期経営目標の進捗状況

中期経営目標（実施期間 H26～H28）

- ① 入館者数を3年間で15%増加させます。
- ② 出前講座に加え、新たに館外展示を実施することにより、館外事業の参加者数を3年間で80%増加させます。
- ③ 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

① 中期経営目標の進捗状況

測定指標		H24 実績値	H25 実績値	H26 実績値	目標値 (H28)	
①	入館者数	6,132人	6,056人	5,929人	7,000人	
②	館外事業（出前講座、館外展示等）の参加者数	1,102人	1,380人	10,247人	2,000人	
③	利用者アンケートにおける満足度	利用者サービス	96.9%	99.3%	95.3%	95%以上
		施設の維持・管理	97.0%	98.7%	98.6%	95%以上

② 平成27年度における取組内容の見直し等

- ・施設を積極的に広報し入館者増を図るため、関係施設における展示・体験講座を増やすなど館外展示を拡充強化する。
- ・常設展示や企画展・ミニ展示等では、わかりやすい資料の開設の展示を設置するとともに、実物の標本に触れたり、顕微鏡で観察したりするなど、体験できる展示の充実に努める。

(6) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

① 利用者の意見等

ア 利用者アンケート結果（平成26年度通年実施 有効回答数84件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	78.1%	17.2%	1.6%	3.1%
施設の維持管理	83.3%	15.3%	0.0%	1.4%

イ 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成26年8月	広報が少ない。ラジオなどでも宣伝したらよいと思う。	県教育委員会が提供するラジオやテレビ番組で紹介・宣伝した。

平成26年8月	体験できるプログラムをもっと開催してほしい。	特別プログラムを2回開催した。
---------	------------------------	-----------------

② 事故、故障等

年月	内容	対応
平成26年4月	高電圧室内のトランス絶縁油劣化	修繕（絶縁油の取替）
平成26年8月	エアコンの故障	修繕（サーミスタの交換）
平成26年9月	屋外受水槽のマンホール蓋パッキング及び防虫網の劣化	修繕（パッキング及び防虫網の交換）
平成27年1月	生物標本室サッシからの雨漏り	修繕（庇の取付）
	電気室の水漏れ	修繕（屋根排水溝修理）
平成27年3月	非常用発電機のバッテリー能力低下	修繕（バッテリーの取替）

③その他報告事項など

特になし

（7）評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	C	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座や企画展について、ホームページへの掲載や近隣市町や学校、公民館等への訪問で広報活動を行っている。また、館外展示にも積極的に取り組み、幅広く広報活動に努めている。 入館者増を図るため、普及講座の新プログラムの実施、企画展の内容や実施期間等には、工夫の余地があると思われる。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設内は常に清潔に保たれているほか、修繕等については、利用者の安全や利便性を考え迅速に対応するなど適切に管理が行われている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。 個人情報については職員に周知徹底が図られており、適切な情報管理が行われている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> おおむね施設の設置目的にあった管理運営がなされており、今後も適正な管理とさらなる利用促進に向けた取組を期待する。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

（8）助言・指摘事項

--